

## 板橋区環境基本計画 2025 の進捗状況について

板橋区環境基本計画 2025（以下、「本計画」という。）における、令和 3 年度の進捗状況を取りまとめたので報告する。

### 1 本計画について

#### (1) 位置づけ

本計画は、板橋区基本構想や板橋区基本計画 2025 で示された施策を環境面から具体化するとともに、国や都の計画並びに、いたばしNo.1 実現プラン及び区の関連個別計画と相互に整合・連携を図っていくものである。

#### (2) 計画期間

本計画の期間は、板橋区基本計画 2025 の計画期間との整合を図り、平成 28(2016)年度から令和 7（2025）年度までの 10 年間としている。

#### (3) 指標

本計画では、基本目標に対する達成状況を評価する「環境指標」（成果指標）、環境施策の活動状況を把握する「活動指標」の 2 種類の指標を設定している。

### 2 令和 3 年度実績値に基づく進捗状況の点検・評価

令和 3 年度における環境指標、活動指標の進捗状況について点検・評価を行った。環境指標については、目標値に対する進捗度を「順調」、「漸進」、「停滞」で評価し、活動指標については、目標値の設定が無いことから、基準年値（平成 26 年度）からの進捗を「進展」、「横ばい」、「後退」で評価した。

#### 【環境指標及び活動指標の評価結果】

環境指標については、「順調」の数が前年度から 3 つ減り 3 項目となり、「停滞」は 1 つ減り 6 項目となった。令和 2 年度から引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受け、数値が改善されない指標が少なくなかった。また活動指標については、「進展」と「横ばい」が 2 項目減り、「後退」が 1 項目増える結果となった。

基本目標	環境指標（成果指標）				活動指標			
	順調	漸進	停滞	その他※	進展	横ばい	後退	その他※
1 脱炭素社会の実現	1	0	0	1	1	1	3	3
2 循環型社会の実現	0	2	0	0	1	4	3	2
3 自然環境と生物多様性の保全	1	1	1	1	1	3	6	1
4 快適で健康に暮らせる生活環境の実現	1	0	1	0	2	1	2	4
5 「環境力」の高い人材の育成	0	2	2	0	2	0	6	0
6 パートナーシップが支えるまちの実現	0	1	2	1	0	3	3	0
<b>計</b>	<b>3</b>	<b>6</b>	<b>6</b>	<b>3</b>	<b>7</b>	<b>12</b>	<b>23</b>	<b>10</b>

※：基準年値又は実績値のどちらかの数値が無く比較ができない項目、数値の増減でよし悪しを評価することができない項目、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響等で実施しなかった項目については、「その他」として集計した。

表 令和3年度における環境指標の実績と進捗状況

指標名	基準年値 平成26年度	めざす 方向性	目標値 令和7年度	実績値 令和3年度	(参考) ※9 達成率 達成度	進捗率	進捗度 ※10
<b>基本目標1：脱炭素社会の実現</b>							
区内エネルギー消費量※1 (熱量換算)	—	—	—	—	—	—	—
区内温室効果ガス排出量	231.8 万t-CO <sub>2</sub> ※2	↘	162.3 万t-CO <sub>2</sub> ※3	196.4 万t-CO <sub>2</sub> ※4	50.9% C+	50.9%	順調
<b>基本目標2：循環型社会の実現</b>							
区民一人当たりの一日の ごみ排出量	689 g※5	↘	598 g※6	645g	48.4% C+	48.4%	漸進
リサイクル率	21.5 %※5	↗	28.0 %※6	22.5%	80.4% B	15.4%	漸進
<b>基本目標3：自然環境と生物多様性の保全</b>							
区全体の植生被覆率	18.3 %	↗	21 %	—※7	—	—	—
公園率	5.9 %	↗	6.1 %	5.9%	96.7% A	0%	停滞
石神井川における生物化学的 酸素要求量 (BOD75%値)	0.7 mg/L	—	1.0 mg/L 以下	0.8mg/L	— AA	100% 以上	順調
白子川における生物化学的 酸素要求量 (BOD75%値)	3.8 mg/L	↘	2.0 mg/L 以下	2.8mg/L	55.6% C+	55.6%	漸進
<b>基本目標4：快適で健康に暮らせる生活環境の実現</b>							
微小粒子状物質(PM2.5)の基 準値Bレベル以上の日数	25 日	↘	23 日	0 日	1,250.0% AA	100% 以上	順調
騒音に係る環境基準の達成率	79 %	↗	85 %	76 %	89.4% B	0%未満	停滞
<b>基本目標5：「環境力」の高い人材の育成</b>							
人材育成に関わる環境講座参 加者数	199 人	↗	400 人	218 人	54.5% C+	9.5%	漸進
外部人材を活用した環境学習 実施校(園)の割合	76.1 %	↗	100 %	52.3 %	52.3% C	0%未満	停滞
環境教育プログラム利用校 (園)の割合	74.4 %	↗	100 %	60.4 %	60.4% C	0%未満	停滞
エコ生活(アクション9)の実 施状況	75.0 %	↗	100 %	82.3 %	82.3% B	29.2%	漸進
<b>基本目標6：パートナーシップが支えるまちの実現</b>							
全区民参加型環境保全キャン ペーン参加者数	25,674 人	↗	31,500 人	—※8	—	—	—
エコポリスセンター事業への ボランティア等参加者数	990 人	↗	1,300 人	545 人	41.9% C	0%未満	停滞
環境登録団体数	27 団体	↗	37 団体	29 団体	78.4% B	20.0%	漸進
環境学習講師派遣人数	363 人	↗	500 人	156 人	31.2% C	0%未満	停滞

※1：「板橋区地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の令和2年度までの指標

※2：「板橋区地球温暖化対策実行計画（区域施策編）2025」の基準年値（平成25年度）

※3：「板橋区地球温暖化対策実行計画（区域施策編）2025」の目標値（令和7年度）

※4：令和元年度（オール東京62市区町村共同事業「特別区の温室効果ガス排出量」より）

※5：「板橋区一般廃棄物処理基本計画2025」の基準年値（平成27年度）

※6：「板橋区一般廃棄物処理基本計画2025」の目標値（令和7年度）

※7：植生被覆率は5年ごとの調査（参考 令和元年度実績は18.1%）

※8：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全て中止した

※9：目標値に対する実績値の達成状況。AA（達成率100%超）、A（達成率90%～100%）、B（達成率70%～90%未満）、C+（達成率70%未満でも基準年値を上回る）、C（達成率70%未満で基準年値より悪化）、めざす方向性が↘の場合は進捗率と同値とした

※10：計画最終年度の目標達成に向けた進捗状況。基準年値と比較して実績値がこのままのペースで推移した場合に、進捗率が100%以上になるものを「順調」、改善はしているものの100%に届かないものを「漸進」、0%以下になるものを「停滞」とした。令和3年度については、10か年計画の6年度目（一部を除く）であるため、進捗率が60%以上になるものを「順調」とした。なお、基本目標2については、「板橋区一般廃棄物処理基本計画2025」の計画期間が平成30年度から始まる8年間であるため、進捗率は50%以上になるものを「順調」とした。また、基本目標1の「区内温室効果ガス排出量」については、「板橋区地球温暖化対策実行計画（区域施策編）2025」において、基準年値を平成25年度とし目標値を令和7年度の12年間で設定しているため、1年間でおよそ8.33%数値が改善したものを「順調」とし、今回は令和元年度の評価となるため6年目の50%を上回れば「順調」とした。

### 3 基本目標ごとの進捗状況概要

#### 基本目標1：脱炭素社会の実現

##### ■ 進捗状況

区内温室効果ガス排出量は、令和3年4月に策定した「板橋区地球温暖化対策実行計画（区域施策編）2025」の基準年値と目標値に更新したが、「順調」の評価となった。東日本大震災以降における節電の取り組みの定着等により、エネルギー消費量の減少傾向が続いているほか、再生可能エネルギーによる発電量の増加等により、電力の二酸化炭素排出係数が緩やかに低下し、温室効果ガス排出量の減少につながった。

##### □ 令和3年度の主な成果

「いたばし環境アクションポイント事業」を実施し、区民や事業者の省エネに対する取り組みを支援した。また令和4年1月には「ゼロカーボンいたばし2050」を表明し、同3月には区役所の地球温暖化対策を進めるため「板橋区地球温暖化対策実行計画（事務事業編）2025」（以下、「事務事業編」）を策定した。「事務事業編」では区施設の整備におけるゼロエミッション化の推進、区施設への再生可能エネルギー100%電力の導入拡大、本庁舎の庁有車への電気自動車の導入拡大、区施設におけるマイボトル用のウォーターサーバーの設置等を進め、区が自ら率先し脱炭素社会の実現に向け取り組みを行っていく。

#### 基本目標2：循環型社会の実現

##### ■ 進捗状況

区民一人当たりの一日のごみ排出量は、令和2年度の新型コロナウイルス感染症により、家庭での巣ごもりや食品等の消費が増えた影響で増加したが、令和3年度は前年度の排出量より減っているものの、引き続き「漸進」となった。またリサイクル率は、前年度の数値と変化がなく「漸進」となった。

##### □ 令和3年度の主な成果

高齢者・障がい者などに対する戸別収集件数については安定的に基準年値を上回って推移している。

##### ◇ 進捗度が「漸進」の項目の要因・今後の方向性等

区民一人当たりの一日のごみ排出量及びリサイクル率は、新型コロナウイルス感染症による外出抑制等の影響を受け増減する傾向にある。今後も推移を見守っていくとともに、食品ロス削減事業の拡大、プラスチック再資源化事業の本格実施を中心に、SDGsの観点を踏まえ、資源・ごみ量、リサイクル率の向上を図っていく。

#### 基本目標3：自然環境と生物多様性の保全

##### ■ 進捗状況

公園率は、前年度から数値に変化はなかった。生物化学的酸素要求量（BOD75%値）については、石神井川は「順調」、白子川は「漸進」となり、石神井川は目標値も下回った。

##### □ 令和3年度の主な成果

エコポリスセンター「環境観察員」登録者数については、前年度より増加しており、今後もSNS等を活用し、若い世代に活動の輪を広げていけるよう活動の様子等を情報発信していく。

◇ 進捗度が「停滞」の項目の要因・今後の方向性等

公園率については、区面積（32.22k m<sup>2</sup>）に対する都市公園面積の占める割合であるが、目標値である6.1%を達成するには、都市公園の新設・増設に向けた用地確保等の課題がある。今後は、用地買収・貸借契約・使用許可等、様々な手法を駆使して公園用地の確保を努め、具体的には、荒川河川敷のうち公園化されていない箇所等、比較的規模の大きい公有地の公園化等を図り、公園率の向上につなげていく。

**基本目標4：快適で健康に暮らせる生活環境の実現**

■ 進捗状況

微小粒子状物質(PM2.5)は、平成26年度以降、年間を通じた測定結果が得られ、基準値Bレベル以上の日数は前年に引き続き低値で「順調」に推移しており、令和3年度は0日と最も良い数値となった。理由としては、工場等のばい煙発生施設の規制や自動車排気ガス規制等が考えられる。騒音に係る環境基準の進捗率は、基準年値を下回り「停滞」となった。要因として、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い公共交通機関から自動車による移動が増加したことや外出抑制に伴う宅配サービスの利用増加等による交通量の増加が原因と考えられる。

□ 令和3年度の主な成果

路上禁煙地区（8地区）内の定点におけるたばこのポイ捨て月平均本数については、基準年値を大きく下回って推移しており、新型コロナウイルス感染対策による外出自粛の影響も考えられるが、区内における一定の喫煙者のマナーの向上が見受けられる。

◇ 進捗度が「停滞」の項目の要因・今後の方向性等

騒音に係る環境基準の達成率については、自動車騒音の測定結果を道路管理者である区や都に対し提供し、道路管理者による低騒音舗装等の騒音対策が計画的に進むよう取り組みを継続していく。

**基本目標5：「環境力」の高い人材の育成**

■ 進捗状況

人材育成に関わる環境講座参加者数等の2つの項目で「漸進」となり、外部人材を活用した環境学習実施校（園）の割合等の2つの項目で「停滞」となった。

□ 令和3年度の主な成果

環境講座受講前後の知識・考え方の変化した受講者の割合については基準年値を大幅に上回り推移している。また、区から発信する環境情報の更新回数もTwitter等を積極的に活用しており基準年値を大きく上回った。

◇ 進捗度が「停滞」の項目の要因・今後の方向性等

外部人材を活用した環境学習実施校（園）の割合については、小学校での活用実績が前年度より増加しており、令和2年度からはエコポリスセンターの出前授業の一部がWEB対応になっているため、さらに活用してもらえよう周知を行っていく。

**基本目標6：パートナーシップが支えるまちの実現**

■ 進捗状況

全区民参加型環境保全キャンペーン参加者数については全キャンペーンを中止とした。またエコポリスセンター事業へのボランティア等参加者数等の2つの項目で「停滞」となり、環境登録団体数については「漸進」の評価となった。

□ 令和3年度の主な成果

エコポリスセンター事業へのボランティア等参加者数については、コロナ禍のもとでの事業再開であったが、前年度より参加者数を増やすことができた。

◇ 進捗度が「停滞」の項目の要因・今後の方向性等

環境学習講師派遣人数は前年度よりわずかに減少したが、Webを活用した授業の需要が伸びているため、今後もリモートを含めた企画を実施し、講師派遣事業の幅を広げていく。

## ■ 板橋区環境基本計画 2025 活動指標一覧（令和3年度実績）

令和3年度における活動指標の実績と進捗状況は以下のとおりである。なお、「進捗度」については、基準年値に対して実績値が5%以上増加（「めざす方向性」が下向き矢印の場合は減少）したものを「進展」、5%以上減少（同増加）したものを「後退」、増減が5%未満のものを「横ばい」とした。

指標名	基準年値 平成26年度	めざす 方向性	実績値 令和2年度	実績値 令和3年度	進捗度
<b>基本目標1</b>					
▶環境施策1-①：区民・事業者における省エネ・再エネの推進					
区内の住宅用太陽光発電システム導入発電容量	—	—	—※1	—※1	—
区公共施設における緑のカーテン実施施設数	180 施設	↗	162 施設	158 施設	後退
環境マネジメントシステム新規構築事業所数	14 事業所	↗	9 事業所	2 事業者	後退
新エネルギー・省エネルギー機器設置補助件数	347 件	↗	—※2	—※2	—
▶環境施策1-②：建物や交通などインフラの低炭素化の促進					
「板橋区建築物等における省エネルギー・環境配慮に関する指針」に基づく省エネ建築物受付件数	57 件	↗	42 件	48 件	後退
街灯の更新	— 基	↗	3,320 基	1503 基	—
区役所で使用している自動車の低公害車率	74 %	↗	72 %	72 %	横ばい
自転車道整備延長距離（累計）	4,670m	↗	5,028m	5,255m	進展
<b>基本目標2</b>					
▶環境施策2-①：板橋かたつむり運動の推進					
ごみ減量に関する出前講座の実施回数	43 回	↗	—※3	—※3	後退
資源回収品目数	11 品目	↗	11 品目	11 品目	横ばい
リサイクル推進員研修会参加者数	433 人	↗	283 人	264 人	後退
小型家電の資源売却量※4	544,570 kg	↗	563,048 kg	508,355 kg	後退
いたばしエコ・ショップ（ゴールド）認定数	—	—	—※5	—※5	—
▶環境施策2-②：適正で効率的なごみ収集・処理体制の構築・運用					
家庭ごみの排出量（可燃・不燃・粗大ごみ）	110,742 t	↘	110,536 t	107,733 t	横ばい
事業系ごみの排出量（可燃持ち込みごみ）	29,520 t	↘	27,544 t	28,298 t	横ばい
資源の回収量	13,869 t	—	14,421 t	14,348 t	—
高齢者・障がい者などに対する戸別収集件数	783 件	↗	914 件	951 件	進展
集団回収登録団体数	883 団体	↗	901 団体	900 団体	横ばい
<b>基本目標3</b>					
▶環境施策3-①：板橋らしい良好な緑や水環境の保全・創出					
緑化指導に基づく緑化箇所数	90 件	↗	94 件	81 件	後退
緑化指導に基づく緑化面積	59,617 m <sup>2</sup>	↗	15,020 m <sup>2</sup>	10,322 m <sup>2</sup>	後退
地域がつくる公園制度導入公園数	27 公園	↗	27 公園	27 公園	横ばい
花づくり活動登録グループ数	83 グループ	↗	81 グループ	84 グループ	横ばい
保存樹木指定本数	1,842 本	↗	1,765 本	1,706 本	後退
雨水流出抑制量	4,119 m <sup>3</sup>	↗	3,379 m <sup>3</sup> ※6	3,528 m <sup>3</sup> ※7	後退

※1：※2の事業終了に伴い評価対象外 ※2：令和3年3月末にて事業終了

※3：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

※4：小型家電の資源売却については、金属価格の変動の影響を受けるため、基準年値・実績値ともに「資源回収量」を掲載した。

※5：平成30年3月末にて事業終了 ※6：令和元年度実績値 ※7：令和2年度実績値

指標名		基準年値 平成 26 年度	めざす 方向性	実績値 令和 2 年度	実績値 令和 3 年度	進捗度
基本目標 3	▶環境施策 3-②：自然とのふれあい促進や自然の恵みの享受					
	グリーンフェスタ参加者数	8,073 人	↗	—※3	—※3	—
	緑のガイドツアー参加者数	102 人	↗	45 人	89 人	後退
	熱帯環境植物館来館者数	103,925 人	↗	35,861 人	100,538 人	横ばい
	エコポリスセンター「環境観察員」登録者数	57 人	↗	64 人	73 人	進展
	区民農園応募者数	3,144 世帯	↗	2,691 世帯	2,687 世帯	後退
基本目標 4	▶環境施策 4-①：大気汚染や騒音などのない生活環境の保全					
	公害苦情件数	251 件	↘	242 件	225 件	後退
	公害相談件数	2,182 件	—	2,537 件	2,428 件	—
	公害関係法令に基づく改善指導件数	201 件	—	181 件	217 件	—
	「板橋区大気情報公開システム」アクセス件数	458,533 件	↗	310,081 件	263,131 件	後退
	環境調査に関する情報のツイッター発信数	25 件	↗	137 件	146 件	進展
	▶環境施策 4-②：潤いのある景観や美しい街並みの保全					
	景観形成重点地区指定数	4 地区	↗	4 地区	4 地区	横ばい
	「板橋クリーン作戦」参加者数	18,721 人	—	—※3	—※3	—
	「板橋クリーン作戦」におけるごみ回収量	6,600 袋	—	—※3	—※3	—
路上禁煙地区(8 地区)内の定点におけるたばこのポイ捨て月平均本数	1,300 本/月※8	↘	722 本/月	626 本/月	進展	
基本目標 5	▶環境施策 5-①：環境教育の推進、環境保全活動を担う人材の育成					
	環境講座・教室開催回数	677 回	↗	244 回	338 回	後退
	環境講座参加者数(人材育成に関わる講座を除く)	22,898 人	↗	5,753 人	11,451 人	後退
	環境学習講師派遣人数	363 人	↗	164 人	156 人	後退
	環境学習施設の入館者数	270,195 人	↗	162,971 人	250,718 人	後退
	環境講座受講前後の知識・考え方の変化	63 %※9	↗	88.1 %	86.4 %	進展
	▶環境施策 5-②：わかりやすい環境情報の発信					
	区から発信する環境情報の更新回数	356 件	↗	708 件	893 件	進展
	環境イベント等開催回数	244 回	↗	60 回	82 回	後退
	環境イベント等参加者数	96,949 人	↗	5,974 人	12,983 人	後退
基本目標 6	▶環境施策 6-①：環境保全活動への参加や協働を進める仕組みづくり					
	ボランティアなどの協力を受入れたエコポリスセンター事業数	183 件	↗	91 件	137 件	後退
	自主講座支援回数	2 回	↗	1 回	1 回	後退
	喫煙マナーアップ推進員人数	157 人	↗	100 人	82 人	後退
	集団回収登録団体数【再掲】	883 団体	↗	901 団体	900 団体	横ばい
	地域がつくる公園制度導入公園数【再掲】	27 公園	↗	27 公園	27 公園	横ばい
花づくり活動登録グループ数【再掲】	83 グループ	↗	81 グループ	84 グループ	横ばい	

※8：平成 27 年 4 月～平成 28 年 1 月までの 10 か月間の平均値 ※9：平成 28 年度実績値